

淀川水系流域委員会のみなさまへ

08/01/08

私はこの委員会を傍聴し続けてきましたが、今回遅ればせながら河川管理者から出されてくる資料を見るにつけ、ほんとに大戸川ダム、そして川上ダムが必要なかとますます疑問は募るばかりです。今回新聞に掲載された資料や河川管理者の資料などから、大阪府治水に有効であるとされる大戸川ダムが「大阪湾河口より13、2km地点でたったの19cmしか効果がないこと、HWLでも17cmを超えるだけ、それは堤防天端より3mも下」とあり、これに大阪府民の税金を投入する、ということには納得がいきません。これまで余野川ダムの時にも議論をしてきましたが、ダムよりもっと下流で大雨が降った時、このHWLを超える可能性があるでしょう。その時堤防は崩れるのですか？どこでどんな雨が降ろうと住民の生命、財産を守ることが河川管理者の使命ではないのでしょうか。そのためにはまず堤防強化をすることしかないと思います。そして各自治体も「ダムをつくれれば安全」ではなく、身近にある堤防がほんとに大丈夫なのか、河川敷きの利用はこれで良いのかななどをそれこそ河川管理者と一緒に考えるべきです。

今回以上のような考えから、大阪府の考えを確認したいと思っておりましたが、知事選となったため、急遽各立候補予定者に公開質問状を出しました。回答も揃いましたので、参考までにみなさんに資料提供させていただきます。

みなさまの議論に活かしていただければ幸いです。

箕面市坊島 4-11-1

箕面市会議員 増田京子

※ご住所の掲載については増田様の許可を得ております。

公開質問状

2008年1月2日

大阪府知事選挙立候補予定者

様

「淀川水系のダムを考える大阪府民の会」

共同代表 (連絡先) 増田京子 (箕面市坊島 4-11-1)

(連絡先) 小林洋一 (和泉市)

神前進一 (豊中市)

賛同人 佐川克弘 (高槻市)

斎藤朝則 (枚方市)

野村東洋夫 (茨木市)

山敷 恵 (高石市)

水野 静 (豊中市) その他

ダム問題、財政問題を考え府内各地で活動している府民が中心になり、今回「淀川水系のダムを考える大阪府民の会」を立ち上げました。そして、会の活動として別紙の公開質問状を出させて頂きます。

本体着工に向けて進んでいる大戸川ダム、川上ダムの建設目的には合理性のない無駄な巨大公共事業の典型です。年末の新聞報道にもありましたように、大阪府の厳しい財政状況がより明らかになりました。財政再建団体にもなりかねない、という危機が目の前に迫っているのです。

そのためには、これまでの大阪府行政運営の舵を大きく切り替え、透明度の高いものとする必要があります。

このような状況で行われる知事選挙となりました。選挙の多忙さは十分理解しておりますが、年末年始を挟む選挙となった上に、事態の進展が急であったため、ご迷惑をおかけしますが、ぜひ1月6日までにご回答下さい。

私達府民は少しでも多くの情報を得て、一票を投じるその責任を果さなければと考え、質問をさせて頂いています。ぜひ真摯なご回答を頂けますようお願いいたします。

時間が無いためにファックス、メールでの送信お許し下さい。(メール送信は小林洋一から送ります。)

回答もファックス、メールで結構です。よろしく申し上げます。

問い合わせ、返信先(メールは増田か小林どちらでも結構です)

増田京子の連絡先は 事務所 (市民のひろば)

〒562-0041 大阪府箕面市坊島 4-11-1

増田メール hiroba@paw.hi-ho.ne.jp です。

※ご住所およびメールアドレスについては増田様に掲載許可を得ております。

公開質問事項

大阪府知事選挙立候補予定者

様

淀川水系のダムを考える大阪府民の会 08/01/02

ご存知ですか？ ダム建設への大阪府の負担

2007年8月に発表されました「淀川水系河川整備計画原案」では、戦後最大洪水を安全に流下させるには、大戸川ダム(事業者：国交省近畿地方整備局/建設地：滋賀県)、天ヶ瀬ダム再開発(同/建設地：京都府)、川上ダム(事業者：水資源機構/建設地：三重県)の3つのダムが必要とされていますが、これらのダム事業に大阪府が経費の一部を負担していることをご存知でしょうか。

ダムの効果はきわめて小さい

大阪府は昭和9年の室戸台風や昭和25年のジェーン台風などで大きな被害を受けており、治水事業が府民にとって重要なことはいまでもありませんが、大戸川ダムおよび川上ダムの淀川への治水の効果はほとんどありません。

淀川は200年に1度程度発生する可能性のある降雨を対象に河川整備が進められていますが、例えば大戸川ダムの場合、淀川にとって最悪のケースとされる昭和47年の台風20号型の降雨を1.53倍した場合でも、最も危険といわれる河口から13.2km地点(大阪工大グランド付近)で水位を19cm下げる効果しかありません。大戸川ダムがなくても、洪水時の水位は、堤防の高さと比較すると約3mも低いのです(図)。

川上ダムの淀川の水位を下げる効果は同じように小さいものです。

府民の血税は、府民の生命を守るために

大戸川ダムについての大阪府の負担分は当初180億円とされ、すでに150億円が支出されています。今回の見直しで、大阪府負担分は230億円となり、今後少なくとも80億円の負担を求められます。それだけでなく、さらに増える可能性もあります。川上ダムについては当初の850億円が1220億に増額されていますが、自治体負担分は未定です。

もちろん府民の生命を守る治水事業は大変重要であり、今後とも進める必要があります。しかし府民の生命を守るために最優先で行うことは、遠く離れた上流(滋賀県や三重県)にダムを建設することではありません。水が乗り越えると脆く壊れてしまうとされている堤防を補強することです。府民の生命を守るために府民の血税を有効に使って下さい。

「質問事項」

それでもダム事業への負担をされますか？

大阪府知事選に立候補を予定される皆さん、効果が小さい大戸川ダムや川上ダム建設に対して、財政の苦しい大阪府がさらなる負担をすべきと思われませんか。お考えをお聞かせください。

大戸川ダムあり・なしの差、わずか19cm

堤防天端→

計画高水位 (H.W.L.)
8.84m

約3.2m

大戸川ダムなし
9.01m

大戸川ダムあり
8.82m

近畿地方整備局の被害想定は、
計画高水位を1mmでも超えれば破堤としている。

300%拡大

— ダムなし水位
— 計画高水位
— ダムあり水位

差は19cm

高水敷高さ↑
普段の水位はこれよりも下

淀川堤防

13.2km

昭和47年台風20号
×1.53倍の洪水

- 水位が計画高水位を超えるのは、33ケースのうち2ケース
(非常にレアケース)
- 計画高水位+17cmなら越水しない。
(堤防の破堤の原因の80%までが越水)
水位は堤防頂上から約3mも下。(堤防補強で対応可能)

淀川水系のダムを考える大阪府民の会 御中

2008年1月5日

明るい民主大阪府政をつくる会
知事選挙予定候補 梅田章二

貴団体からの2008年1月1日付けの公開質問状について下記の通り回答します。

大戸川ダム、川上ダムは、治水上也建設する必要はありません。ダム建設は自治体財政に多大な負担をかけるだけでなく、自然生態系を破壊し、環境悪化をもたらします。

今後の治水対策は、ダム建設ではなく、河川のしゅんせつや、遊水池をつくるなど総合的な治水対策等に対応すべきです。財政の苦しい大阪府としても、これ以上の財政負担はすべきではないと考えます。

以上

平成20年1月5日

淀川水系のダムを考える大阪府民の会

共同代表 増田京子様

公開質問状に対する回答について

平成20年1月2日付けで頂きました公開質問状に対し、下記のとおり回答いたします。

記

「質問事項」

それでもダム事業への負担をされますか？

大阪府知事選に立候補を予定される皆さん、効果が小さい大戸川ダムや川上ダム建設に対して、財政の苦しい大阪府がさらなる負担をすべきと思われませんか。お考えをお聞かせください。

朝日新聞に報じられましたとおり、府庁は赤字隠しをしていました。その赤字隠しがなければ財政再建団体になっていたところでは。私は、まずは府庁改革、税金の無駄遣いのストップを行います。これまでの役人の論理、慣例に基づく支出は一切認めません。大阪府は破産の状態であることを府庁に認識させ、全ての補助金、事業を徹底的に見直します。府債の発行を抑え、限られた収入で、どの事業を残すのか徹底的に検証します。このことはダム事業でも全く同じです。ダム事業の効果を徹底的に検証し直し、大阪府が破産状態であることを前提に、どうしてもその事業が必要であり、しかし府債発行を認めず予算が足りないということであれば、職員の給料から財源を捻出してもらいます。私は、府庁に怒っています。民間では、また家計では、収入は決まっており、その収入に合わせて支出をぎりぎりまで削っていきます。やりたくても我慢することが多いのです。一方、府庁は、予算が足りなければ安易に府債発行し、簡単に借金をして将来にツケを回しております。この体質をとにかく変えます。役人が小賢しい論理を振りかざしてくれば、机をけり上げ、ひっくり返してきます。そのためにも、ダム事業に関し、治水・利水の観点から、本当に必要性がないのか、効果はどのようなものなのか、府の負担と比べて費用対効果はどのようなのか、皆さん方から貴重なご意見を賜りたいと思います。事業全般について、0ベースで徹底的に見直し、役人と必要性の議論をする場には、府民にも一般傍聴をしてもらい、役人の論理を徹底的に検証してもらいたいと思います。よろしくお願いします。

以上です。

橋下徹

淀川水系のダムを考える大阪府民の会 御中

質問状への熊谷さだとしの回答です

「府としてはもうダムは必要ないと考えています」

よろしくお願ひします。